

透析医療の自主機能評価指標について

2025年10月現在

I 施設の状況		
1. 施設の設備		
① 施設の種別	病院	※
② 病床数（有床の場合）	377床	※
③ ペーシェントステーション台数（透析ベッド数）	26台	※
2. 施設の機能		
① 準夜透析の可否（21時以降終了）	不可	※
② → 可の場合、透析室の終了時間（通常の最終終了回収時間）	-	※
③ オーバーナイト透析の可否（日をまたがる透析で6時間以上）	不可	※
④ 在宅血液透析の可否	不可	※
⑤ オンラインHD Fの可否	可	※
⑥ シヤント手術の可否	可	※
⑦ P T Aの可否	可	※
⑧ 障害者自立支援医療機関かどうか	自立支援対応可	※
⑨ 処方の区分（院内処方・院外処方）	院外処方	※
⑩ 腎代替療法実績加算の有無	無	※
⑪ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算の有無	有	※
3. 医療スタッフの状況		
① 透析に関わる医師数	常勤 2人、嘱託常勤 2人	※
	非常勤（週1回以上）3人	※
② 透析医学会会員の医師数	4人	※
透析専門医の人数	4人	※
透析技術認定士の人数	5人	※
透析に関わる看護師数	13人（うち准看護師2名）	※
腎不全看護認定看護師の人数	0人	※
慢性腎臓病療養指導看護師の人数	0人	※
透析に関わる臨床工学技士の人数	専任:5人、兼任:11人	※
⑨ 専門血液浄化臨床工学技士の人数	0人	※
⑩ 認定血液浄化臨床工学技士の人数	1人	※
透析に関わるメディカルソーシャルワーカーの人数	1人	※
透析に関わる）管理栄養士の人数	2人	※
⑬ 透析の運動療法に関わる） 理学療法士・作業療法士	2人	
II. 患者の状況	10月現在	

① 外来透析患者数	60名	※
外来内訳 月水金（午前）20、月水金（午後）18、火木土（午前のみ）22		
② 外来腹膜透析患者数	0人	※
③ 外来透析に対する後期高齢患者の比率	35% (21名)	※
III. 治療指標（外来透析患者対象）		2025年10月9日現在
① 腎性貧血管理（Hb 10.0g/dL以上の比率）	91.20%	※
② P管理（P 6.0mg/dL以下の比率）	89.40%	※
③ PTH管理 (iPTH 240pg/mL以下、あるいはwhole PTH 150pg/mL以下の比率)	96.40%	※
④ 透析時間（4時間以上の患者の比率）	61.40%	※
⑤ 透析時間（5時間以上の患者の比率）	3.50%	※
⑥ 透析時間（6時間以上の患者の比率）	0%	※
⑦ 透析量（Kt/V 1.2以上の比率）	82.40%	※

※印は、日本透析医会より推奨されています評価指標項目（令和2年7月1日最新）に基づいて、掲載しています。